

## ビジョン連携推進会議 第一分科会第 2 回目 開催概要

- 1 日時 平成 25 年 11 月 14 日（木）
- 2 テーマ 「学生活用による地域活性化」
- 3 臨時構成員 一般社団法人淡路エリアマネジメント
- 4 要旨

### （1）ワテラスの開発経緯と全体概要

- 千代田区の淡路町二丁目西部地区市街地再開発事業では、再開発を通して地域コミュニティの再生に取り組んだ。中でも、学生マンションを運営して学生の居住を推進し、地域活動に積極的に参加する仕組みがユニークな取組として注目されている。
- 本再開発事業は、平成 5（1993）年に統廃合となった淡路小学校の跡地を活用したものであり、周辺町会関係者と千代田区により構成された「淡路地域街づくり計画推進協議会」で、再開発によるまちづくりや地域貢献についての検討が進められてきた。
- 本再開発事業による大型複合施設「ワテラス」には、地域の活性化に寄与するコミュニティ施設や学生マンション等が整備され、これらの運営を始めコミュニティ活動を支援する「一般社団法人淡路エリアマネジメント」（淡路エリマネ）を設立し、まちづくりを継続的に支援している。

### （2）ワテラスオープン時における地域コミュニティ活性化のための地元団体や行政との連携

- タウンマネジメント組織（後年の「淡路エリマネ」）では、神田の街がこれまで育んできた人情、情緒は引き継ぎつつ、新旧住民、就労者、学生等を交えたコミュニティづくりを担うことを基本理念とした。
- 淡路エリマネには、検討段階から地元町会の関係者や周辺の学校関係者が参加しており、設立後も法人の評議員を委嘱するなど運営に関わっている。
- 淡路エリマネでは、地元町会や NPO のイベントなどに共催として関わることでコミュニティ施設の使用を無償とするなどの地域交流活動の支援をしている。

### （3）学生入居のための取組、周辺大学との連携

- 学生マンション「ワテラススチューデントハウス」は、施設の所有は安田不動産であるが、運営は協定に基づき淡路エリマネが行っている。
- 入居学生は、淡路エリマネの学生会員として、エリマネ主催イベントの運営サポート、地域情報誌の取材、地元町会のイベント等への参加などの地域活動への参加が義務づけられている。一方で、賃料は周辺の相場よりも低く抑えている。
- 入居学生の募集に当たっては、周辺の学校の協力を得ることができた。また、入居学生の活動を通じて、地域と学校とのつながりが深まるなどの成果が生まれている。

### （4）学生活用による地域コミュニティ活性化の取組の実際

- 今回の事例では、住民の高齢化、地域活性化という課題を周辺の大学等に通う学生と結びつけた視点が、再開発を契機としたまちづくりの議論の中で形となった。現在、学生の参加が地域の活性化によい影響を与えるという成果が出てきている。
- 本事例が実現した要素として、伝統あるコミュニティ、地域の活性化に対する民間事業者の意欲などがうまく結びついているとの意見があった。